

発掘調査の概要

大官大寺南方の調査（飛鳥藤原第199次）

藤原京左京九条四坊・十条四坊に位置する、大官大寺。6町を占めるこの大寺院は、百濟大寺に起源をもつ官寺です。一昨年度より、大官大寺の南方の様相をあきらかにするために、継続的に地中レーダー探査と試掘調査を実施する計画を進めています。

昨年度は、2019年1月と2月に調査を実施しました。試掘調査は左京十一条四坊西北坪、大官大寺の中軸線のやや西側でおこないました。面積は65.5㎡です。また、地中レーダー探査は一昨年度の南側で約10,000㎡の範囲について実施しました。

試掘調査では東西溝1条、掘立柱建物1棟、斜行溝1条などを検出しました。調査区北半で確認した東西溝は幅70cm、深さ25cm程度で、十条大路南側溝の可能性がありますが、ただし、大路の側溝としては規模がやや小さく、推定位置とも少しずれるなど、確定するにはさらなる調査と検討が必要です。また、調査区南半の斜行溝は弥生時代の流路で、大官大寺周辺の旧地形や遺跡の形成過程を知るうえで貴重な成果です。

未調査地が広がる大官大寺周辺、小規模ながらも地道な調査を積み重ねることで、少しずつ様相をあきらかにしていきたいと思います。

（都城発掘調査部 和田 一之輔）



試掘調査区全景（南西から）